【高等学校用】

令和３年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀県立唐津西高等学校

1　前年度 評価結果の概要	**「双松の力」の育成を図り、全職員で組織的に、そして、協働的に教育活動に取り組んだ。特に、地域の人的・物的資源を活用し、保護者や地域の力を教科指導をはじめ学校教育活動全体に積極的に生かしながら、教育活動に邁進した。今年度はコロナ禍で、教育活動が制限や変更を余儀なくされる中でも、最大限の効果が得られるよう様々な工夫を行った。次年度も良い面は残し、不備な部分は改善していく。そして、新たな唐津西高校の発進のために、グランドデザインのもと、来るべき社会である超スマート社会（Society5.0）を逞しく生き抜き、持続可能な社会の作り手として、ふるさと佐賀の郷土と自然を誇り思い、国際社会や我が国とともに地域社会に貢献できる心豊かな志のある人間の育成に努めていく。**
2　学校教育目標	**「地域社会の未来を担う志のある人材」の育成 ・人とつながる力を大切にし、情報の取捨選択ができる、確かな人間力を持つ者の育成 ・協同の精神を持ち、地域の課題を発見し、地域から信頼される者の育成**
3　本年度の重点目標	**・地域に信頼され、選ばれる学校づくり ・基礎学力の定着と多様な進路先の実現 ・特別活動・生徒会活動・ボランティア活動の充実 ・コミュニティ・スクールを活用した魅力と活力ある高校づくり**

4　重点取組内容・成果指標　　**中間評価**　　**5　最終評価**

（1）共通評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	○教師の指導力の向上。 ○生徒の理解度の向上。	○生徒による授業評価の満足度の評価を80%以上とする。 ○教師がICTを利活用し、動画配信及びオンライン授業に取り組んでいる。	・授業見学会実施。（各教科年2回以上） ・学期に1回以上の学習状況調査を行う。 ・ICT研修（ｽﾀﾃﾞｨｻﾌﾞﾘ、Classi、オンライン等）実施 ・授業評価アンケートによる振り返りを各自行う。		・		・		・
	○進学意識の向上 ○多様な進路希望の達成と大学進学実績の向上	○大学進学希望者の割合70%以上 ○国公立大学合格者30名以上 ４年制私立大学合格者120名以上	・学年、教科、分掌と連携しながら、時機に応じた情報提供、集団指導、個別指導、講演会等を企画し、実施する。 ・進路検討会の充実 ・速やかな県下一斉模試及び模試分析		・		・		・
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●情報モラルに関する意識及び知識を持っている生徒を80%以上とする。 ●学校生活において「明るい挨拶・気持ちのよい挨拶」の励行する。	・「情報モラル教育講演会」及びLHR実施 ・人権学習・進路保障LHR実施 ・振興会朝の挨拶運動 ・ハナコフェア講演会		・		・		・
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○教育活動アンケートの「いじめ防止及び対応等について」が満足している評価を95%以上を目指す。	・学校全体で多面的に生徒の状況を把握し、理解・支援する体制を作る。 ・生徒の出欠状況を確実に把握し、欠席が10日を超えた生徒には、ケース会議を行う。 ・情報共有シートの有効的な活用を図る。		・		・		・
	◎夢や進路希望の実現に向けて努力する教育活動の推進	◎「唐津検定」合格者70% ◎ルーブリック評価における「地域力」の生徒の自己評価を3.0以上を目指す。 ◎キャリアパスポートを全生徒が活用できることを目指す。	・唐津検定受検 ・ふるさと佐賀を誇りに思う教育講演会 ・総合的な探求の時間、特別活動を通して、キャリア教育の体制を構築する。 ・ルーブリック評価及びキャリアパスポートを定期的に活用し、的確な振り返りを行う。		・		・		・
●健康・体つくり	●「望ましい生活習慣の形成」 （感染症の予防と対応） ○各科健康診断後の受診率向上	●感染症予防について、マスクの着用と、うがい・手洗い・手指消毒のこまめな実施を徹底させ、100%の習慣づけを目指す。 ○再受診率について、歯科は30%、その他は60%を目指す。	・集会等での呼びかけや、教室・廊下のポスター掲示・保健だよりで、意識の向上を目指す。 ・学期毎1回以上の生活習慣アンケートを実施する。 ・学校医との連携を密にして、受診勧告及び啓蒙活動を行う。		・		・		・
	○部活動の活性化	○部活動加入率95%以上を目指す。 ○リーダー育成	・部活動紹介の工夫 ・部活動の取り組みの共有 ・部活動のリーダー研修会		・		・		・
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○意識改革により、年間年次休暇取得平均10日以上を目指す。（5日未満の教職員0名にする。）	・定時退勤日、学校閉庁日、年休取得推進日、部活動休養日の設定。 ・ICT及び教職員の教育的技術の共有化による業務効率化。 ・学校行事の見直し及び廃止の実施。		・		・		・

（2）本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標（数値目標）		進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
○コミュニティスクールを活用した魅力と活力ある学校づくり	○地域社会に貢献し、地域に信頼され、選ばれる学校づくり	○地域と連携した生徒の活動・行事を増やす。 ○地域の人材を活用したキャリア教育を行い、地域に貢献できる人材の育成を目指す。	・学校運営協議会を年3回実施する。 ・部活動（ボランティア・写真）単位での活動を学校全体の取組として発展させる。 ・地域関係者の講演を複数回実施する。		・		・		・
○特別活動・生徒会活動・ボランティア活動	○図書館の利用と読書活動の推進	○図書貸し出し数年間2,000冊以上を目指す。	・朝読書の継続的実施 ・図書館資料の積極的な更新 ・図書館便り毎月発行		・		・		・
	○生徒会活動・ボランティア活動の充実	○クラスマッチ・双松祭を生徒主体で運営。 ○ボランティア活動の拡充を行い、ボランティアに対する意識を持つ生徒を50%以上を目指す。	・学校行事等の司会進行、双松祭の企画運営。 ・ボランティア部を中心とし、学校全体でボランティアに取り組む体制の構築。 ・キャリアパスポート（ポートフォリオ）の活用。						
○地域に信頼される学校づくり	○開かれた学校づくり	○学校HPへの更新100回以上及びアクセス数の増加を目指す。 ○学校開放日における保護者の授業参観数を50名以上にする。 ○教育活動アンケートの「重点目標を知っている」保護者を60%以上を目指す。	・HP、メール配信、SNSの活用による学校の情報発信を行う。 ・中学生の学校見学会の内容の充実。 ・学校開放日を魅力ある内容にするとともに、開催についての周知に努める。 ・地域のボランティア活動に積極的に取り組む。		・		・		・

●…県共通　○…学校独自　◎…志を高める教育

5　総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・